

玉島市民交流センター指定管理者

阿賀崎公園指定管理者

玉島武道館指定管理者

更 新 手 続 書

令和3年4月

倉敷市企画財政局市民協働推進部市民活動推進課

倉敷市建設局土木部公園緑地課

倉敷市文化産業局文化観光部スポーツ振興課

1 更新の条件

倉敷市（以下「市」という。）は、次に掲げる条件が全て満たされていると判断した場合、「玉島市民交流センター、阿賀崎公園及び玉島武道館指定管理者 募集要項（令和３年４月）」に掲げた２期目について、非公募により１期目の指定管理者を、引き続いて、次期指定管理者の候補者とすることがある。

（１）玉島市民交流センター（以下「交流センター」という。）、阿賀崎公園及び玉島武道館に対する市の政策（施設の位置づけ）に変更がないこと。ただし、次のような場合は、更新を行わないことがある。

ア 倉敷市市民交流センター条例（平成２２年倉敷市条例第５３号。以下「交流センター条例」という。）、倉敷市公園条例（平成１７年倉敷市条例第９６号。以下「公園条例」という。）又は倉敷市武道場条例（昭和４６年倉敷市条例第３５号。以下「武道場条例」という。）が改正等され、施設の位置づけが変更となった場合

イ 市議会において、施設の位置づけ、運営方針等の変更について請願が採択されるなどした場合

ウ 交流センター、阿賀崎公園又は玉島武道館に直接関連する法令（交流センター条例、公園条例又は武道場条例を除く。）の改正等があり、市が施設の位置づけを見直した場合

エ 交流センター、阿賀崎公園又は玉島武道館に直接関連する国、県等の補助制度等が廃止、変更等があり、市が施設の位置づけを見直した場合

オ 交流センター、阿賀崎公園又は玉島武道館の利用者数、利用率等の推移が低調、その他設置目的を十分に果たしていない状況が確認され、管理運営手法に抜本的な改善を図る必要があると市が判断した場合

カ 市総合計画、市長公約等が新たに計画、変更又は改正等され、施設の位置づけ、運営方針等を市が見直した場合

キ 近隣に類似の施設が建設、設置されるなど交流センター、阿賀崎公園又は玉島武道館を取り巻く環境に大きな変化があった場合

（２）建替えや大規模修繕など、市の施設運営方針に大きな変更がないこと。ただし、次のような場合は、更新を行わないことがある。

ア 災害等により交流センター、阿賀崎公園又は玉島武道館が損傷等し、建替えや大規模修繕などの必要が発生した場合

イ 耐震診断の結果、建替えや大規模修繕などの必要が発生した場合

（３）当該指定管理者等の管理運営の状況（モニタリングの結果）が優良であること。ただし、次のような場合は、更新を行わないことがある。

ア 毎年度実施するモニタリングにより、業務の全部又は一部の未実施、不適切な手法等（軽微な事項を除く。）が確認された場合

イ 協定書に定めた達成目標が、達成されていない場合（市の目標設定に無理があった場合、災害その他特別な事情があると認められる場合を除く。）

ウ 利用者満足度が低調、利用者（利用者団体を含む。）や施設近隣住民等から苦

情等が多数寄せられている場合

- (4) 次期の協定条件について，市と指定管理者等の双方が合意できること。

なお，2期目の指定管理料は，1期目の指定管理料と同水準であることを基本とする。

具体的な算定にあたっては，1期目の協定書に付属する別紙6「収支計画内訳書」を基礎資料とし，総務省統計局発表の消費者物価指数（岡山），厚生労働省岡山労働局発表の最低賃金など，官公署等が公表した資料を根拠として合理的に行うものとする。

2 更新制のスケジュール

- (1) 条件を満たしていることの確認

令和7年6月～令和7年7月

ア 更新の条件(1)(2)(3)に掲げた条件を満たしているか否かを市が確認します。

イ 必要により選定委員会を開催する場合があります。

- (2) 次期協定条件について，市と指定管理者等で協議

令和7年8月～令和7年11月

更新の条件(4)により，次期協定条件について市と指定管理者等で協議を行います。

- (3) 次期協定条件について合意（仮協定の締結）

令和7年12月15日まで

- (4) 再指定の議決（債務負担行為の設定を含む）

令和8年2月市議会

3 更新に至らない場合の措置

指定管理者が更新を受けられないこととなっても，理由の如何にかかわらず，市は指定管理者に対して，生じた損害の賠償の責めを負わない。